

## 事業成果報告書

1. 教育委員会名                   : 秩父市教育委員会
2. 研究主題                        : 小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化
3. 研究タイトル                  : 秩父市小規模校教育高度化推進プロジェクト  
～小中連携による学力向上を目指して～
4. 研究課題                       : (1) 小規模校のメリットを最大化させる方策  
ア 少人数であることを最大限生かした教育活動に関する研究  
イ 創意工夫を生かして小規模校や複式学級設置校のメリットを最大化させる先進的な方策  
(2) 小規模校のデメリットを最小化させる方策  
ア 学校間ネットワークの構築  
イ 社会教育と密接に連携した学校教育活動

### 5. 事業の実績

#### (1) 調査研究のねらい

人口・児童生徒数の減少、学校の小規模化が進行する秩父市において、スケールに起因するデメリットを最小化し、小規模校のメリットを最大化させる方策を通して教育を高度化する研究を行い、取組を推進する。タブレット等ICT機器を活用し、個に応じたきめ細かな指導や思考力・表現力を高める指導を計画的・継続的に行い、これからの時代に対応した小規模校の教育活動の充実を図る総合的な方策を提示する。さらに、秩父の良さである豊かな自然環境・伝統文化、人と人とのつながり等を積極的に教育活動に取り入れ、豊かな心を持ち、秩父が大好きな、あすの秩父を担う子どもたちの育成に取り組む。

#### (2) 調査研究の実施状況（平成28年度）

|    |   |
|----|---|
| 4月 | 大田小・中学校合同家庭学習集中取組の実施（4月18日～22日）   |
| 5月 | ICT活用教育に係る県立総合教育センター訪問（5月11日）<br>大田小・中学校合同家庭学習集中取組の実施（5月23日～27日）<br>ICT活用教育に係る県立総合教育センター訪問②（5月26日）  |
| 6月 | 秩父市ICT活用に係る準備委員会開催（6月6日）<br>・ICT機器を活用した教育の推進について<br>・タブレット端末機種選定について<br>東京学芸大学高橋純准教授訪問（6月9日）<br>秩父市ICT活用教育に係る第2回準備委員会開催（6月22日）<br>大田小・中学校合同家庭学習集中取組の実施（6月27日～30日） |
| 7月 | 大田小・中学校合同研修会開催（7月11日）<br>・研究の概要及び研究の方向性について<br>大田小・中学校研究委嘱「委嘱状」交付式（7月19日）<br>・ICT機器の活用事例等及び先進校等の取組紹介<br>「夏休み算数教室」の実施（夏季休業中5日間、大田小）                                |
| 8月 | 大田小・中学校合同避難訓練の実施（8月25日）<br>第1回秩父市小規模校教育高度化推進会議開催（8月31日）<br>・大田小・中学校研究推進計画について<br>・南部正敏教授による講義指導「主体的で対話的な学びを創造する」  |
| 9月 | 大田小・中学校合同運動会の開催<br>第1回秩父市ICT活用教育推進委員会開催（9月28日）<br>・ICT機器（タブレット端末）活用研修<br>大田小・中学校合同PTA研修会（9月30日）<br>大田小・中学校合同家庭学習集中取組の実施（9月26日～30日）                                |

|     |  |
|-----|--|
| 10月 | 第2回秩父市ICT活用教育推進委員会開催（10月4日）<br>・授業研究会 中学校3年生体育「マット運動」<br>・高橋純准教授講義指導「わかりやすく深まる授業づくりのためのICT活用」<br>大田小・中学校合同家庭学習集中取組の実施（10月11日～14日）<br>大田地区小・中地域連携調整会議開催（10月21日）<br>・研究推進計画について<br>・ICT機器の活用について |
| 11月 | 先進校視察 岐阜県白川町佐見中学校および愛知県安城西中学校（11月1～2日）<br>先進校視察 宮城県豊里小中学校および福島県新地町（11月15～16日）<br>大田小学校研究授業の実施（11月17日）<br>・2年算数「かけ算九九を作ろう」 タブレット端末の活用<br>大田小・中学校合同家庭学習集中取組の実施（11月28日～12月1日）                     |
| 12月 | 算数ドリルソフトの活用による個別学習の開始（大田小）   |
| 1月  | 第3回秩父市ICT活用教育推進委員会の実施（1月16日）<br>・授業研究会 6年理科「電気とわたしたちの暮らし」<br>・高橋純准教授による講義指導  |
| 2月  | 大田小・中学校合同家庭学習集中取組の実施（2月20日～23日）  |
| 3月  | 第3回秩父市小規模校教育高度化推進会議（3月13日）<br>・今年度の研修のまとめ及び次年度計画について<br>・南部正敏教授指導  |

## 6. 事業の成果

### (1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

|   |
|---|
| <p>(1) 小規模校のメリットを最大化させる方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「活躍機会の設定」「異年齢集団活動の実施」「多彩な人との交流機会の設定」を掲げ、多彩な人との交流機会の確保と多彩な発表機会の確保に取り組んだ。</li> <li>○交流や発表を通して、子どもたちに身につけさせたいコミュニケーション能力を9年間の段階的に明らかにして取り組む計画を策定した。</li> <li>○児童が自ら考え、児童同士に学び合う場面、振り返りやまとめる場面を意図的に設定し、タブレット端末のカメラ機能などを活用した発表の場を設け、教師の切り返しの発問などにより、思考力や学習意欲、コミュニケーション能力が高まる授業を実践した。</li> <li>○5、6年生の児童1人に1台のタブレット端末、普通教室に大型テレビ等を配備するとともに、無線LANを整備し、ICT機器を活用した多様な学び環境の整備を図った。</li> </ul> |
| <p>(2) 小規模校のデメリットを最小化させる方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中合同各教科領域等研究部会において、小中連携に関する内容の検討を実施し、連携推進を図った。</li> <li>○地域のふれあい祭りに参加し、地域の方へ発表や合唱を披露することにより、地域の教育資源を活用した体験活動を実施することができた。</li> <li>○小中合同の運動会や学校行事を実施することにより、相互の理解や連携を深めることができた。</li> <li>○小中学校で、家庭学習の取り組み方や読書指導など、計画的な指導を行い、9年間を見通した指導ができた。</li> </ul>  |

### (2) 成果物等

|   |
|---|
| <p>秩父市教育委員会「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業に係る概要と研究の方向性」<br/>秩父市教育委員会「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」および「ICT活用教育推進事業」に係る先進校視察報告<br/>大田小学校「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業の記録」<br/>大田中学校「研究紀要 ～少人数・小規模学校における小・中連携のあり方～」</p> |
|---|

(3) 今後の取組予定

- ・少人数であることを生かした個に応じた支援の計画の策定と実施
- ・教職員相互及び保護者、地域との連携強化
- ・9年間を見据えた指導計画の作成、一人一人の能力に応じた指導の実施による学力向上
- ・タブレット端末等 I C T 機器の活用を通して、主体的、対話的で、深い学びの実践